



評価機関による評価



平成 30 年 3 月 8 日



事業所名 市場保育園

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある


評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重


評価分類	評価の理由（コメント）
I - 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人統一の保育理念は「子どもたちが健やかな身体とやさしい心を持ち人の輪の中でいきいきと育つことの出来る環境を追求する」とし、基本方針は「情緒の安定した生活を送ることが出来る環境（人的・物的）を用意する」など4項をあげています。市場保育園の保育目標は「なかよし子ども」「健やかな子ども」「夢をもつ子ども」「見守られる子ども」とし、子どもを尊重したものとなっています。 ・運営理念、基本方針は玄関に掲示してあります。「重要事項説明書」「入園のしおり」「保育課程」に明記されており、毎年職員に配付しています。職員は入職時のオリエンテーションで基本方針を学んでいます。園では職員会議、勉強会（内部研修）、年度末の保育園自己評価実施時、ケース会議や日常業務の中で全職員が確認しあっています。 ・保育課程に、地域の実態や環境を考慮して、子育て支援や小学校との連携、地域との交流などを盛り込んでいます。毎年年度末に、クラス会議、リーダー会議で見直し・検討後、職員会議で確認しています。 ・指導計画は保育課程に基づき、年齢ごとにクラス担当職員が話し合って作成しています。子どもの様子、クラスの状況を見ながら、子どもの意見を取り入れて、自主性や主体性が育つように計画には柔軟性を持たせています。子どもが自分の意思や要望を表現できるように配慮し、子ども同士の話し合いの時間が十分持てるように、援助しています。
I - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会後に親子での面接を実施しています。乳児、食物アレルギーのある場合には栄養士も同席しています面接時に、子どもの様子や親との関わりなどを観察しています。面接の内容は「入園前面接記録表」に記載しています。ならし保育の期間中も子どもの様子をよく観察し、朝ミーティング、クラス会議などで報告しあって情報を共有しています。 ・入園に際し、前もって記入してもらった「児童票」「園児カード」「健康カード」「既往歴表」により、生育歴や家庭状況を把握しています。記録類は個別ファイルに綴り込み保管しています。離乳食、食物アレルギー、睡眠のリズムの対応など日々の保育に活かされています。 ・入園説明会、面談で「ならし保育」について保護者に説明しています。ならし保育期間は10日間程度を予定していますが、各家庭の都合にも配慮して期間を決めています。乳児の場合、1日目は保護者と一緒に過ごすようにしています。 ・0、1歳新入園児に対しては、個別主担当職員は決めていません。 ・0～2歳児クラスは個別の連絡ノートを使って、1日の子どもの様子を伝えています。食事、睡眠、排泄などを記入するほか、家庭での様子、園での様子を詳細に記述しています。幼児でも希望や場合により、連絡ノートを使用しています。 ・新入園児受け入れ時、在園児への配慮については、ならし保育期間中、乳児クラスの在園児は、新入園児と部屋を分けて過ごすなどしています。 ・進級の際には、クラス担任の一人は持ち上がりになるようにしています。分園の1歳児クラスは本園の園庭利用時に2歳児保育室に入ってみたり、2歳児と一緒に保育室で過ごしたりしています。3～5歳児は異年齢の縦割りクラスとなる





	<p>ため、2歳児が数人ずつ給食を3～5歳児のクラスに行き行って食べるなど、不安にならないようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢ごとの指導計画を作成しています。年間指導計画は4期に分けて期ごと、月間指導計画は1か月ごとにクラス担当間で話し合い、作成・評価・見直しを行っています。指導計画の評価、改訂にあたっては、クラス会議（縦割り）、年齢ごとの会議（横割り）で話し合い、職員会議で説明し確認しています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市第三者評価基準では、「0,1歳の新入園児に対しては個別に主担当者が決まっている」としていますので、評価基準対応の評価となります。
<p>I-3 快適な施設環境の確保 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関するマニュアルに沿って、保育室、トイレ、共有部分、園庭などの清掃を行っています。職員による「整理整頓・美化」グループが2週間ごとに、日常清掃のほかに、「窓をきれいに」などの重点テーマを設け、環境の美化と清潔に努めています。 ・各保育室に加湿つき空気清浄機、エアコンが設置されています。外気温や、子どもの活動に応じ適宜窓を開放し空気を入れ替えています。各保育室に温湿度計があり、毎朝「クラス日誌」に記録しています。乳児クラスには床暖房があります。 ・各保育室は独立しています。異年齢合同の自由遊びの時は、音楽や保育者の声が騒音にならないよう、職員間で気をつけています。リズム遊びや年齢ごとの活動に集中したい場合は、保育室と離れた「多目的室」を使用する場合があります。 ・温水シャワー付き沐浴設備があります。オムツかぶれ予防や汗をかいた際に利用しています。園庭、屋上に温水シャワー設備があります。汗をかいた後や水遊び後、泥遊びで汚れた後などに使用しています。使用後に清掃するほか、衛生に関するマニュアルに沿って、清掃・管理しています。特に夏場は消毒をしています。 ・低年齢児クラスは、活動・遊びの場、食事の場、午睡の場を分けています。低い棚や仕切りで区切ったり、畳、敷物、クッションなど用意し小集団で落ち着いて過ごせるようにしています。月齢や発達段階により、棚や低い台などを利用しています。2～5歳児は、午睡の場は保育室と別の部屋を使用しています。年齢による午睡時間のずれは、寝るスペースの場所を工夫しています。（年少クラスは部屋の奥のスペース） ・土曜日は分園で0～5歳児が過ごしています。日常的に異年齢合同保育をしており、各保育室を自由に行き来したり、一緒に活動することで交流しています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児未満児について毎月個別指導計画を作成しています。幼児について、気になる場合や見守りが必要なケースは月間指導計画の「個別配慮」欄に、目標や配慮事項を記載し、「評価・反省」欄に状況や反省点、次期のめやすなどを記載しています。 ・各個別指導計画については、クラス担任で話し合い、毎月見直しをしています。ケース会議、職員会議で子どもの状況を話し合い、柔軟に変更・見直しを行っています。 ・「児童票」「発達経過記録」「入園時面談表」「個人面談記録」「園児カード」「既往歴表」を個別ファイルにしています。入園後の子どもの成長については、「発達経過記録」に、記録しています。子どもの記録内容が記載されたファイルは事務室に施錠保管し、職員は事務室内で見ることができます。 ・進級時は年度末に児童票をもとに、クラス担任と次年度担任間で引継ぎをしています。職員会議、ケース会議でも報告し、全員が周知できるようにしています。 ・保育所児童保育要録は年長担当者が作成し、リーダー、主任、園長が確認後、就学先へ持参しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー、発達の遅れなど特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。個別のケースについては、ケース会議で報告検討し記録を残しています。 ・障がい児教育、統合教育、配慮を要する子どもとの関わり方などの外部研修を


	<p>受講したり、臨床心理士や東部地域療育センターからの助言を職員会議、ケース会議で報告し職員間で情報共有をしています。資料を回覧するほか、重要部分はコピーし配付もしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの特性を考慮した、個別指導計画を作成しています。気になる子の場合には、日常の様子、めやす、対応の結果などを月間指導計画の「個別配慮」欄に記載しています。障がいに関する研修受講後や、企業派遣の臨床心理士巡回相談後に、職員会議、ケース会議で報告と話し合いをしています ・「保育基本マニュアル」に「虐待対応」の項目があり、定義が明記されています。 ・虐待が明白になったときは、鶴見区こども家庭支援課、横浜市中心児童相談所に通告・相談する体制となっています。疑わしい場合や見守りが必要な場合には、職員会議で全職員に周知し、身体状況、食事の様子など細かく観察しています。場合により、鶴見区こども家庭支援課の保健師やケースワーカー、地域の主任児童民生委員、横浜市中心児童相談所と連携をとる体制となっています。 ・アレルギー疾患については、かかりつけ医の診断後「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」に基づき対応しています。 ・食物アレルギーについては、保護者と栄養士が定期的に面談し、確認して除去食を提供しています。場合によりパンを米粉パンにするなどの代替食を提供することもあります。除去食は専用のトレイ、名前入り食器使用、給食室での調理時・提供時・配膳時に複数職員間で確認をしています。食事の席に職員が付き添っています。
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望、苦情受付担当は主任、解決責任者は園長としています。「重要事項説明書」「入園のしおり」に意見、要望、苦情受け付けについて明記し、入園説明会で保護者に説明しています。第三者委員の連絡先を「重要事項説明書」「入園のしおり」に記載しています。園玄関内に第三者委員の連絡先を掲示しています。 ・相談機関案内として、園内に「横浜市福祉調整委員会」の案内ちらしを掲示しています。鶴見区子育て支援拠点の「横浜子育てパートナー」の相談案内ちらしを園玄関に置いています。 ・「保育基本マニュアル」に「苦情解決」の項目があります。園独自で解決困難な場合は、第三者委員も交えて対応する仕組みとなっています。 ・保護者からの苦情、意見に園として対応したケースの一部を記録に残していますが、日常寄せられる、細かな要望、意見、苦情の記録が確認できませんでした。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情や日常寄せられる細かな要望、意見なども記録に残し蓄積整理し、解決に活かすことが期待されます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ - 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが手の届く位置に玩具や絵本を配置し、自由に取り出して遊べるようになっています。折り紙や廃材も自由に取り出すことができ、成長段階に合わせてコーナーの玩具の入れ替えを行っています。廊下にベンチを置き、落ち着いて過ごせるようにしています。子どもが自分で遊びを見つけて遊びだすことに対して、じっくり集中して遊べるように見守っています。 ・子どもの気持ちを察して、興味のあることを活動に取り入れています。大縄跳び、竹馬が人気なので、運動会の演目や親子競技に取り入れました。どんぐりで作ったマラカスが人気なので、生活発表会の楽器演奏に用いて楽しみました。園庭や公園で、ドッジボールなどで守るべきルールがあることを学んでいます。職員は個人の興味を大切に遊びを見守っています。 ・植栽では園庭の畑にスイカ、じゃがいもなどの苗を植え、プランターでいちご、きゅうりなどを育て、収穫してクッキングの食材にして味わっています。散歩先の公園でどんぐりを集めて写真立てを作るなど、自然に親しみを持つように配慮



	<p>しています。散歩中に出会う地域の方々に積極的に挨拶をし、高齢者施設のデイサービスに出かけて利用者と一緒に折り紙や塗り絵を楽しんでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自分の気持ちを自由に表現する手段として、園庭でCDをかけてダンスをしたり、保育室では手遊びの歌を歌ったりして自分のリズムに合わせて自由に体を動かして遊んでいます。年齢に合わせて、絵具、お絵かき帳、クレヨンなど必要なものを常備し、子どもたちが自由に使えるように配慮しています。子どもたちは、季節の歌や好きな歌を自由時間の中で歌っています。 ・子ども同士のけんかは、職員は危険がないように見守り、年齢に応じて自分たちで話し合い、解決できるように、必要に応じて仲立ちしながら支援しています。幼児クラスは、3～5歳児の異年齢が一緒に生活し、活動や遊びを楽しんでいます。 ・職員は子どもと目線を合わせて会話をし、温かい言葉がけに心掛け、信頼関係を築いています。 ・園庭でかけっこ、砂場遊びなどを楽しんでいます。散歩や園庭遊びの場合は帽子を着用し、砂場にサンシェードを設置しています。平均台等の運動遊びを年齢に応じて取り入れ、園庭に鉄棒、ジャングルジムなど、年齢に応じて様々な遊びの道具や設備を用意して、運動能力を高めています。子どものその日の体調により部屋遊びと外遊びを選べるようにしています。
<p>Ⅱ－１ 保育内容[生活] </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は子ども自身が「完食できた」ことに満足できるように配慮しています。職員は「おいしいね」など、共感しながら楽しい雰囲気の中で食事を勧めています。クッキング保育では野菜切りなどを通じて食材や調理への関心を高めています。 ・献立は季節の旬の食材を使っています。家庭と連携して3歳ころから箸を使用しています。 ・食材、献立の苦手なものは最初に盛り付けの量を少なめにしたり、細かくして食べやすいようにするなど配慮をしています。栄養士は自ら食事の場に入り、子どもたちと話をしながら食べている様子を観察しています。毎月末の食育会議で子どもの食事状況を検討して、翌月以降の献立や調理方法に反映しています。 ・献立表は月末に翌月分を保護者に配付し、「人気メニューのレシピ」を紹介しています。保育参加の時に試食をする機会があり、味付け、家庭での食事の様子、園での食事の様子について職員と意見交換をしています。保護者会の“お茶べり会”（開催5～6回／年・保護者の交流会）で栄養士からの話や相談の機会があります。 ・午睡時は照明を消し、カーテンを閉めてうす暗くし、眠れない子どもに職員が身体をさするなどして安心して眠れるようにしています。眠れない子には、寝ている子の妨げにならないように、玩具で遊んだり静かに絵本を一緒に見るなど配慮しています。あお向けの体勢になるように注意しています。5歳児から基本的に午睡を無くしています。 ・一斉のトイレタイム以外にも自分で排せつの意思を職員に伝えています。保護者とは送迎時の話しなどで、必要に応じて排泄状況について情報交換しています。職員はおもらしのときは速やかに対処し、決して叱らず、人目に付かない場所で着替えをさせています。 <p>(分園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものペースを大切にし、子どもの欲しがるときにアイコンタクトしながら授乳しています。離乳食は保護者と連携しながら、嚙んで食べるように進めています。トウモロコシの皮むきをしたり、果物を目の前で切って食べたりすることで食材、調理、食事に関心を持てるようにしています。 ・栄養士に子どもの食べている様子や咀嚼の状態を見てもらい、食材の大きさや離乳食の進み具合について保護者・保育者・栄養士間で共有しています。 ・乳幼児突然死症候群の対策として、睡眠中はあお向けの体勢になるように注意しています。タイマーを用い、0歳児は5分毎、1歳児は10分毎に呼吸チェックし記録しています。

	<p>・「トイレ表」に個人別の排泄記録をし、リズムを把握して誘導しています。トイレトレーニングは保護者と連携しながら1歳児後半ころから発達状況を見ながら個別に始めています。連絡帳に園と家庭での排泄状況を記載し、送迎時の口頭連絡を含めて保護者と密に連携しています。職員はおもらしのときは「決して叱らず、人目に付かない場所で速やかに着替えをしています。」</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p>	<p>・健康管理マニュアルがあり、入園時に既往症や健康状態を健康カードに記入のうえ提出してもらい、進級時にも再度提出してもらっています。保育中に37.5℃以上の発熱や健康上の異常があった場合は、保護者に連絡してお迎えを依頼します。食後の歯磨き指導は、歯ブラシによる事故や不衛生面を考慮して行わず、食後に水で口をゆすぐように指導しています。</p> <p>・健康診断を年2回行い児童票に記載し、歯科健診を年1回行い、健診結果は書面で全保護者に知らせています。子どもの健康状態で心配なことがあった場合は、囑託医に判断を仰ぐなど連携を図っています。囑託医からインフルエンザなどの感染症の情報を得るなど連携を図っています。</p> <p>・感染症対応マニュアルがあり、入園時に感染症の対応や登園停止基準などを記載した入園のご案内（重要事項説明書）を保護者に説明しています。保育中に発症した場合は、保護者へ速やかに連絡し医師への受診を勧めています。地域の感染症発生状況は鶴見区の保健センターから連絡があり、保護者向けに掲示をし、職員に朝ミーティングや回覧で伝えていきます。嘔吐処理の研修を受講した後は、研修報告し、処理の仕方や手洗いの仕方を全職員で確認しています。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] </p>	<p>・衛生管理マニュアルがあり、保健衛生グループを中心に毎年見直しています。職員が掃除当番（ゴミ捨て、更衣室清掃など）を交代で行ない、園舎内を清潔に保つように努めています。整理整頓美化グループを中心に、2週間ごとに清掃テーマ（窓をきれいにするなど）を設け、実施しています。玩具は毎日消毒し、布団は週1回天日干しをしています。毛布、シーツは保護者が持ち帰り洗濯しています。</p> <p>・マニュアルの内容を全職員が共有するための研修などは行っていません。</p> <p><コメント・提言></p> <p>・衛生管理マニュアルの内容を全職員が共有するための定期的な研修などを行うことが期待されます。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] </p>	<p>・安全管理マニュアルがあり、危機管理グループを中心に毎年見直しています。地震などを想定して必要以上に高いところに物を置かず、転倒防止用のシートなどを敷いています。緊急時の連絡体制を事務所に掲示し、緊急時に保護者一斉メールを発信するシステムになっています。</p> <p>・消防署への通報訓練を年2回行っています。地域の避難場所は隣接する市場小学校になっています。職員は交代で消防署や横浜市が主催する救急救命法の研修を受けています。</p> <p>・保護者の緊急連絡カードのファイルを事務所に保管し、警察・消防・病院・地域の関連施設の一覧表を事務室の電話近くに掲示してあります。子どもの小さなケガでも園長に報告し、事故報告書（小）に記録し、お迎え時に保護者に報告しています。病院の受診をしたケガはクラス会議などで再発防止策を検討し、事故報告書（大）に記入して事務室に掲示し、朝ミーティングなどで全職員に伝えています。</p> <p>・玄関はオートロックで、暗証番号は毎年変更しています。来訪者はインターホンで顔、名前の確認を行っています。不審者対応訓練を年2回行っています。緊急通報システムがあり、発生時には警備会社が来園する体制になっています。散歩時は警備会社に通報できる端末機を携帯しています。鶴見区役所、市場小学校、近隣の保育園、保護者、卒園生の保護者などから不審者情報を得る体制になっています。</p>
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重 </p>	<p>・子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視、名前呼び捨てや罰を与えるような不適切な保育が行われないよう、職員間で確認し合っています。子どもの発達に合わせて言葉がけをするように心がけ、ゆっくり、わかりやすい言葉で穏やかに</p>



	<p>話をしています。否定的な言葉を使わず、注意するときはその子どもの気持ちを受けとめて話をするように、また、肯定的な言葉づかいと穏やかな言葉づかいにも留意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーティションや棚でコーナーをつくり、視線を気にせずゆっくり過ごせる場所があります。一対一で話し合うときは、空いている部屋を利用したり、周りから死角になるような場所で、落ち着いて対応できるようにしています。子ども用トイレに扉を付け、プライバシーを守っています。 ・採用時、非常勤職員も含め全職員が個人情報守秘義務遵守の誓約書を提出し、個人情報の取り扱い（個人情報に関する記録、パソコンや個人情報が記録されているファイルは持ち出し禁止）や守秘義務について周知しています。ボランティアや実習生に対しても事前に守秘義務遵守に関して説明し、誓約書の提出も得ています。保護者には入園時に、子どもの写真など個人情報の取り扱いについて説明しています。 ・職員は、保育に男女の固定観念を持ち込まないように留意し、遊び、持ち物、整列、順番等に、性別による区別をしないようにしています。職員会議で、職員の言葉づかいや男の子・女の子の固定観念を持たないように話し合っています。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に、入園説明会、懇談会で保育の基本方針を説明しています。行事毎に行うアンケートで保護者の意向を把握するように努め、また、年度末のアンケートで基本方針や保育全般に関する意見を聞いています。園だより、クラスだより、ホームページや日常的その日のクラスの様子を伝える掲示により、基本方針に沿った保育が行われていることを保護者に伝えています。 ・クラス担任だけでなく、園長、主任、フリー保育士も出来るだけその日の子どもの様子を保護者に伝えるように努めています。3～5歳児はクラスの掲示や1週間ごとの様子を写真入りで掲示し、園での子どもの様子を伝えています。個別面談は年1回行っています。クラス懇談会を年4回行い、クラスの保育や子どもたちの様子について懇談し意見交換をしています。 ・保護者からの相談は「ファミリーカフェ」や空き室で行っています。相談を受けて保護者に対応した職員は園長・主任に報告し、助言を受ける体制があります。必要に応じて園長が別途時間を設けて保護者に対応しています。保護者からの相談内容は面談記録に残し、必要時は職員会議で話し合い、継続的にフォローしています。 ・年度はじめに「年間行事予定表」を配布し、保護者が「保育参観」・「保育参加」や行事の予定を立てやすいようにしています。保育参加は7月下旬から8月末の中で保護者の希望日を聞き調整しています。保護者の希望でいつでも保育参加ができることを伝えています。クラス懇談会に出席できなかった保護者には資料などを配布しています。 ・保護者会組織「しらゆり保護者会」があり、「ファミリーカフェ」や空き部屋を提供しています。運動会や発表会には保護者会の役員にお手伝いを依頼し、準備段階で園の職員が参加して打合せを行っています。保護者会とは園長が常に情報交換しコミュニケーションをとっています。 <p>(分園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日連絡帳に当日の子ども様子を記載し、また、毎月「おひさまだより」に0、1歳児の園での様子を記載して掲示し、保護者に伝えています。


評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の未就学児親子向けの「親子で遊ぼう会（2歳6か月未満）」を年5回、「みんなで遊ぼう会（2歳6か月以上）」を毎月実施し、参加者にアンケートをとっています。毎回2～5組程度の参加があります。一時保育、園庭開放（毎週火曜日開催）、鶴見市場地域ケアプラザ主催の子育て支援活動「ゆうづる」への参加、園長が地域の賀詞交歓会に参加するなどしています。地域ニーズとしては「大



	<p>型高層住宅が増え、待機児童が多い」「食事指導、栄養指導をしてほしい」などが上がっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子で遊ぼう会」「みんなで遊ぼう会」、園庭開放利用者、一時保育利用者、園見学时、子育て支援活動時などの際に、離乳食、食事の量などや、入園は何歳からが望ましいかなど育児上の相談を受けています ・「親子で遊ぼう会」「みんなで遊ぼう会」の開催や、子育て支援活動「ゆうづる」の活動について随時、職員会議や担当職員間で話し合いをしています。 ・一時保育、園庭開放（毎週火曜日 10～11 時半）を提供しています。園庭開放には 10～20 組の参加があります。 ・地域住民向けの講習会などは開催していません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園は地域の社会的資源であることから地域の子育て支援として、地域住民向けに子育てや保育に関する講習会開催の検討が期待されます。
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学、園庭開放利用時、「親子で遊ぼう会」「みんなで遊ぼう会」開催時に随時、園の情報を提供したり、身近な育児相談を受けています。設置法人のホームページ、横浜市のホームページ、地域の子育て情報誌に園情報を載せています。 ・園庭開放時などに随時、相談を受けていますが、決まった日時の設定はしていません。また相談内容の記録は確認できませんでした。 ・地域の行政、医療機関、東部地域療育センター、消防署、警察署は一覧にして、事務所に掲示してあります。業務マニュアルに関係機関の一覧を掲載してあります。 ・鶴見区福祉保健センターの保健師、鶴見区こども家庭支援課、東部地域療育センター、横浜市中央児童相談所、近隣の小学校と日常的な連携が来ています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準では定期的に相談対応をすることを要求しています。当園では育児相談を園庭開放時などに随時相談を受けていますが、記録の確認ができません。園庭開放時に行う定期的な相談内容を記録に残すことを期待します。


評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会のポスターを門に貼って近隣住民に呼びかけ、多くの方々の参加を得ています。 ・園の地域開放では、多目的ホールをダンス教室や書道教室に地域の子どもたちに貸したり、毎週火曜日には園庭を開放しています。その他地域の子ども会に餅つきの臼を貸したり、毎年正月には園庭に獅子舞が来てくれています。 ・地域機関との関係では、市場小学校と年 3 回くらい交流会を行い、運動会では運動場を、発表会では体育館を借りています。鶴見区幼保小連絡会に年 2～3 回出席して、給食などの共通事項を協議しています。 ・年長児は鶴見図書館に絵本を借りに行き、子育て支援事業「ゆうづる」のイベントに遊びに行ったり、森永工場見学をしています。散歩のときは近隣住民と挨拶を交わし、近くのスーパーや魚屋に買い物に出かけています。近隣の高齢者通所施設に年長児が行き、ソーラン節ダンス、折り紙をして利用者とは交流していません。地域の夏祭りでは御旅所として園庭を開放し、子供神輿や大人神輿を招き、職員も神輿担ぎに参加しています。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを随時更新し、将来の利用者に園の情報を提供しています。園のパンフレットを「ゆうづる」のイベントのときに提供しています。鶴見区役所の子育て支援広報誌「ふらっとる一む」や鶴見区役所福祉保健センターの広報誌に園の情報を提供しています。園の見学者にパンフレットなどで必要な情報を提供しています。 ・園見学者に対する保育園の基本方針やサービス内容に関しての説明は園長が対応し、園長不在時は主任が対応しています。電話での問い合わせにも対応し、


	見学できることを案内しています。見学では、各クラスの活動の様態を見学してもらっています。見学は原則として毎週水曜日の10時半からとし、園のパンフレットを渡して説明しています。
IV-3 実習・ボランティアの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れマニュアルがあります。受け入れに当たり、事前に職員会議などで日程、方針を説明し、保護者へは園だよりで周知しています。受け入れは園長が担当しており、受け入れ時の記録があります。今夏は保育士志望の高校生が1名来ました。ボランティアの感想は事務室に保管し、職員が見て保育の参考にしています。 ・実習生受け入れマニュアルがあります。実習生受け入れにあたり、事前に職員会議などで日程、方針を説明しています。保護者へは園だよりで周知しています。受け入れは園長が担当し、受け入れ時の記録があります。今年度は専門学校、短大、大学から6名を受け入れました。実習生の感想は事務室に保管し、職員が見て保育の参考にしています。



評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
V-1 職員の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材構成はクラス編成、勤務時間、経験年数の組み合わせなどを園長が考慮し、必要な人材確保をしています。余裕を持った採用計画を立てています。 ・人材育成については、設置法人作成の「キャリアパス」に基づき、研修を受講しています。職員は一人一人が毎年度、「個別目標シート」で、半年ごとに自己評価を行っています。 ・研修担当は園長としています。設置法人が外部講師を招いて研修を行うほか、園内では「資質向上委員会」が「勉強会（内部研修）」を担当しています。非常勤職員も研修に参加できる体制となっています。「勉強会」として、「緊急時対応」「見守り保育についての話し合い」「保育園新指針について」「子どもとの関わりをビデオにとり検証する」などを行いました。 ・鶴見区、横浜市、横浜市社会福祉協議会等が主催する研修や、東部地域療育センター、公立保育園の実地研修に参加しています。研修受講後は報告書を提出し、職員会議で報告しています。資料と報告書を全職員に回覧しています。 ・非常勤職員も常勤職員と同じ保育業務マニュアルを使用しています。業務については、経験年数、勤務時間などを考慮して組み合わせに配慮しています。非常勤職員は補助業務との位置づけではなく、クラス運営に携わっています。 ・非常勤職員は「勉強会」としての内部研修に参加し、また、外部の研修にも参加できます。「資質向上」「危機管理」「環境整備」などのグループワークや、各行事係担当に入るなど、常勤職員と同様の活動をしています。常勤職員同様、「個人目標シート」で半期ごとの振り返りを行っています。 ・クラス運営については、クラスのリーダーが相談や指導を行っています。担当の職員が非常勤職員のとりまとめ、助言などを行っています。主任が日ごろから、職員間のコミュニケーションが円滑に行くよう配慮しています。また「ナス会」という職員親睦会があり、誕生日に写真を撮ったり、プレゼントをしたり、子どもからの花のプレゼントなどがあります。
V-2 職員の技術の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は各指導計画の評価・反省で自己評価をしています。そのほか職員一人一人の「個別目標シート」で半年ごとの自己評価をしています。当園は年度末に、保育園としての自己評価を行い、5年に一度第三者評価を受審することとしています。 ・鶴見区の園長会や、設置法人理事会、設置法人系列園との会議などでの報告事例や、実地研修、保育の参考書などから、職員会議、リーダー会議、「勉強会（内部研修）」で話し合い、サービス向上に努めています。 ・横浜市東部地域療育センター、企業派遣の臨床心理士からの助言を受けています。「見守り保育」「保育園の安全」などのテーマ講演会を設置法人が企画し、外部講師を招き、学びの機会としています。 ・年間指導計画、月案、週案に評価反省の欄があり、定型化された書式となって

	<p>います。そこでは子どもの育ち、意欲、活動への取り組みを重視して、振り返りを行うようにしています。場合によりリーダー、主任が書き方の助言・指導をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各指導計画についての保育士の自己評価をもとに、クラス担当職員間で評価・反省を行い、職員会議での話し合い、各グループワークでの話し合い、今回の第三者評価受審における話し合いから、園としての課題抽出をしています。子どもの発達段階に応じた関わり、発達を見通せる研修のあり方、マニュアルを全職員で把握する、保護者への情報提供の仕方などが課題として上がりました。 ・園の自己評価の結果は、設置法人のホームページに載せています。印刷したものを園内に掲示して公表しています。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案には、「週の評価欄」のほかに、毎日の「主活動の反省」「1日の様子（午前、午後）」の記入欄があり、そこでは丁寧に子どもの様子をとらえ、振り返りを行っています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人作成の「キャリアパス」があり、そこには経験、習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されており、職員に配付しています。職員の資質向上のため、まんべんなく、色々なクラスやグループワーク、役割を経験できるようにしています。 ・それぞれの職務、クラス運営、グループワーク、行事について、現場の職員に権限を委譲しています。 ・職員からは、職員会議、リーダー会議、クラス会議、朝ミーティング、面談、行事ごとの職員アンケートなどで改善提案を募るほか、日常的な会話からも意見を聴取しています。 ・園長は年2回、全職員と面談を行い、仕事内容の満足度や要望を聞いています。日ごろから何でも話しができるようにしています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育基本マニュアル」「就業規則」に職員のあるべき姿、守るべき倫理、服務規程を明記し、全員に周知しています。 また職員会議で、職員の不正、不適切な行為を行わないよう意識啓発を図っています。 ・経営、運営状況等の情報は公表していません。 ・他施設での不適切事例については、職員会議で話し合ったり、園長が新聞の切り抜きを回覧したりし、職員啓発に努めています。 ・ゴミは分別しています。子どもにも伝えて実行させています。廃材を利用して作品づくりやおもちゃを作っています。段ボールで御神輿、迷路を作ったり、ペットボトルを使って楽器を作ったりしています。 ・節電、節水に努めています。まめに、エアコンの設定温度を調整しています。夏場の水遊びや、植物の水やりも水を大事に使うよう子どもに伝えていきます。 ・環境への考え方や取り組みは明文化されていません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、関係者などに、経営、運営状況等の情報を積極的に公開されることが期待されます。 ・環境への考え方、取り組みを明文化し、運営に活かすとともに、子どもや保護者に知らせて協力を得ていくことが期待されます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、基本方針、保育目標を園内に掲示しています。重要事項説明書・入園のしおり・保育課程に理念・基本方針・保育目標が明記してあり、全職員に配付しています。職員会議、朝のミーティング時に基本方針に基づいた保育についての話をしています。職員採用時に理念、基本方針について説明をしています。また園長は年2回の面接時にそれらについての職員の理解度を確認するほか、日常の

	<p>保育の中でも確認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な意思決定の場合は、保護者との説明会や懇談会を開催したり、「保護者会」個々の役員と意見交換を行うこととしています。 ・保育内容、行事の変更などは職員会議、リーダー会議で職員に説明しています。保護者には、懇談会、園だより、園内掲示、文書で伝えるほか、口頭でも送迎時に知らせています。 ・設置法人作成「キャリアパス」に沿って、主任対象の職員には外部研修を受講させ、主任業務を遂行できる資質の向上に努めています。 ・主任は個々の職員の業務状況、職員配置に留意し、勤務シフト編成をしています。また指導計画等の書類チェック・管理、フリー保育士として各クラスの保育に入っているなどして、職員個々の業務状況と様子を把握し、そのうえで園長と連携をとりながら、職員への指導や助言をしています。職員とは、職員会議、リーダー会議、朝ミーティングなどでコミュニケーションをよく取り、適切な助言ができるようにしています。また職員に、まめに声をかけ、話をよく聞くようにしています。職員個々の心身の状態に気を配り、業務負担が多くならないように配慮しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に影響のある情報は、設置法人事務局で収集、分析しています。園では、園長が鶴見区園長会議や行政機関から情報収集しています。 ・重要な情報は、職員会議、リーダー会議で職員に話し、情報を共有しています。 ・重要な改善課題については、職員会議、リーダー会議で話し合い、保育所全体の取り組みとしています。 ・平成 28～32 年度の中長期計画があります。 ・運営、サービスプロセスの新たな仕組みは、設置法人役員会で検討しています。 ・後継者育成については、設置法人作成「キャリアパス」があり、経験年数に応じた役割が期待水準として明文化されており、計画的に後継者を育成しています。 ・運営について、関連機関、行政、労務、会計の専門機関から意見を取り入れています。

利用者家族アンケート

施設名：市場保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数129名、全保護者117家族を対象とし、回答58家族からあり、回収率は50%だった。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収した。

◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、満足度割合が88%（満足45%、どちらかといえば満足43%）と高く、不満足度割合は10%（不満8%、どちらかといえば不満2%）でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 問7 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか 満足度98%
- 2) 問4 給食の献立内容については 満足度98%
- 3) 問4 お子さんが給食を楽しんでいるか 満足度98%
- 4) 問4 園のおもちゃや教材については 満足度97%
- 5) 問2 園の目標や方針についての説明には 満足度96%

◇ 比較的不満足度の高い項目

- 1) 問6 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換では 不満足度38%
- 2) 問5 施設設備については 不満足度31%
- 3) 問5 外部からの不審者侵入を防ぐ対策について 不満足度24%
- 4) 問4 自然に触れたり、地域に関わる園外活動では 不満足度22%
- 5) 問6 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について 不満足度22%
- 6) 問6 お子さんに関する重要な情報の連絡体制 不満足度22%

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	12%	74%	9%	3%	0%	2%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	54%	36%	10%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	51%	31%	2%	2%	12%	2%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	34%	48%	7%	0%	9%	2%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	34%	62%	2%	2%	0%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	55%	40%	5%	0%	0%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	45%	43%	7%	3%	2%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	51%	40%	5%	2%	2%	0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	31%	48%	16%	3%	2%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	33%	43%	9%	5%	10%	0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	54%	31%	12%	3%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	57%	31%	3%	9%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	66%	31%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	42%	36%	12%	10%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	54%	34%	5%	5%	2%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43%	36%	16%	2%	3%	0%
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	77%	21%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	77%	21%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	50%	36%	9%	3%	2%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57%	38%	3%	0%	2%	0%
	その他:					

おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50%	34%	3%	2%	11%	0%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	47%	40%	9%	2%	2%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41%	36%	16%	5%	2%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

2	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	40%	29%	29%	2%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	41%	47%	7%	3%	2%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	34%	42%	17%	7%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	42%	48%	7%	3%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	38%	38%	19%	3%	0%	2%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	41%	38%	21%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50%	33%	10%	5%	2%	0%
	その他:					

送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	36%	26%	26%	12%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	40%	36%	17%	5%	2%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	40%	44%	9%	5%	0%	2%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	54%	33%	2%	2%	9%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	51%	38%	7%	2%	0%	2%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	64%	34%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	42%	33%	3%	3%	12%	7%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	57%	34%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	50%	33%	12%	5%	0%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	44%	43%	9%	2%	2%

観察方式による利用者本人調査

平成 30 年 1 月 12 日 1 月 16 日 1 月 18 日

事業所名：市場保育園本園・分園

【0 歳児】

<排泄>

保育士が、子どもに「おむつ替えようか」と声掛けし、手をつないでトイレ前に来て、子どもがトイレ前にあるロッカーの引き出しを引いておむつを出しています。自分の手がやっと届く子も引き出しを引き、取り出しています。低い台に腰を下ろして、着脱している子もいます。おむつが濡れていなかった子に「トイレ行ってみる？」と保育士が聞くと、うなずいています。トイレでうまくできた時は「すごーい。良かったね」とほめています。友だちがおむつ替えをしているのをみて、何人かが、おむつをもってやって来て、順番を待っています。

<食事>一斉に食べ始めるのではなく、席に着いた子から順番に

離乳食の子は、給食を早めに用意し、保育士と向かい合って食事しています。保育士が一口分のごはんや、おかずをスプーンにのせ、子どもにスプーンを渡すと、子どもはしっかりスプーンをもって、口に運んでから「次はこれ」というように、お盆に乗っている、ごはんや、汁椀を指さしています。汁椀を指さすと、保育士が「しっかり持ってね、お口までもっていくよ」と声掛けすると子どもは両手で、お椀をもち、上手に飲んでいきます。食事が終わった後、牛乳をストローで飲んでいきます。

<午睡>

食事が終わった子から順番に、保育士と一緒に手をつないだり、自分一人で午睡のスペースに移動します。保育士に抱っこされて移動する子もいました。布団に横になりすぐ寝入ってしまう子や、おなかやおでこをなでてもらっている子、足をバタバタさせている子など、様々です。食事の時間が一斉でないため、午睡の開始や目覚める時間も少しずつ、ずれていますが、無理に時間に合わせる事はしていません。呼吸チェックは 5 分おきにして記録しています。

【0 歳児高月齢～1 歳児】

<活動>動物になりきって遊ぶ

2 階のホールの広いスペースで子どもがぐるぐる走り回っています。「皆が集

まったら、動物さん探しに行こうかな」の声に保育士の周りに集まってきます。「動物を探しに行こう！」「どんな動物がいるかな」の保育士の声に、子どもは、ワクワクしたように出発に備えています。部屋の壁や窓、柱などあちこちに、紙が貼ってあり、「ここになんかいそうだね、なんだろう」と裏を返すと、動物の写真が現れます。「わ～、うさぎさんだ」「どうやって走るかな」の保育士の声掛けに「ぴよんぴよんって走るの」と皆、うさぎの耳のように手を耳にかざして、ジャンプしたり低い姿勢で跳ねたりしています。「次は、何がいるのかな」と言うと、子どもが貼ってある紙を探し、「ここだよ、ここにいる」ライオンや、象、パンダ、ブタ、ゴリラ、ひよこ、わに、猫などが現れます。そのたびに、動物の特徴をまねたり、鳴き声や動作を皆で楽しんでいきます。

【1歳児】

<排泄>

保育士が一人ずつおむつ替えをしています。おむつを外してもらった子どもはトイレに行き、しばらくして保育士が様子を見に行きました。「あ、でたー」保育士がぱちぱちと手をたたき、手洗い場に連れて行って手を洗わせます。保育士が新しいおむつを用意し「〇〇ちゃん、これ持って、せーの…」と上に引き上げ、続いてズボンをはかせてもらいます。「はい、どうぞ、おしまいで～す」自由になった子どもは嬉しそうに歩き回っています。

<遊び>

プラスチックの連鎖が入っている透明の円筒を、子どもが振ってガシャガシャ音を立てて遊んでいます。やがて、鎖をザーッと床に出しました。また一つずつ連鎖を筒に入れていきます。他のテーブルでは、はめ絵遊びをしています。乗用車、クレーン車、ショベルカーなどの車のパズル絵を次々に、はめ込んでいきます。「〇〇ちゃん、すごいねー、全部できるね」保育士が見守りながら褒めると、子どもは嬉しそうに続けています。ままごとコーナーで、ぬいぐるみの人形を二つ大事そうに抱え、机のところに来て並べて保育士に見せながら何か話しかけ、保育士が子どもと人形に頬ずりしていました。

<午睡>

部屋は消灯して、カーテンを引いて薄暗くしています。何人かはぐっすり寝入っていますが、まだ、眠れずにいる子どもも何人かいて保育士がタオルケットをかけ直し、頭やお腹をそっとさすって眠りを誘っています。保育士に抱っこしてもらっている子は眠れずむずかっています。やがて、そっと横にして添い寝をしてあげていました。

【2歳児】

<自由遊び> 室内遊び

敷物や、棚を利用して、コーナーを作ったり机を配置して、色々な遊びができるようにしています。保育士が本を読み始めると、何人も回りに集まってきて、膝に乗っている子もいます。じっくりパズルに取り組んでいる子もいます。お絵かきしたり、ブロックを組み立てたり、ままごとをしたり、クッションのあるコーナーで寝転んでいる子もいます。友だちや保育士と一緒に遊んだり、子どもたちはそれぞれ好きな遊びをしていました。

<自由遊び> 園庭遊び

しばらくして園庭に行って遊ぶ子たちが出ました。そのまま室内遊びを続けたい子は、残っています。園庭に行った子は、三輪車や山小屋風遊具、自動車型遊具に上って身体を動かしたり、保育士と一緒に走り回ったりしています。砂場で遊んでいる子もいます。幼児クラスも一緒に園庭を使っており、お兄さん・お姉さんの遊びにちょっと加わったり、遊び方を見ていたりしています。食事の時間が近づいてくると、保育士が声掛けすることもなく、自然に子どもたちは、使った遊具を片付けて室内に戻ってきました。

<食事>

遊びを切り上げて手を洗い、自分でエプロンを付け、お手拭きを準備し終わった子から自分の好きな席に着いています。まだ遊びに熱中している子もいます。配膳台に一人保育士がつき、準備の出来た子から、ごはんやおかずをよそってもらってお盆に食具もすべてのせ、自分で席まで運びます。こぼれないように、また友だちや、机にも注意して運んでいます。狭くなったところでも上手に運んでいます。自分の席に食器を並べ終わったら、お盆は返しています。早く運び終わった子から「いただきます」と言って、食事を始めています。同じテーブルの子は「どうぞ」と言っています。お替りは自由で、次々とお替りの列に並んでいました。遊びに熱中している子にも、特にせかしたりはしていません。保育士は「そろそろおなかすいたよね」「皆おいしそうだね」などの声掛けをしています。

<食後>

食べ終わった子から「ごちそうさま」と挨拶をし、食器を重ねて下膳しています。床に物がこぼれていると、雑巾で拭いている子もいます。「これからトイレに行って、お昼寝だよ」と調査員に教えてくれます。数人ずつ、保育士が午

睡の場所（別の部屋がある）に連れて行きます。

<午睡> 2～5歳児一緒の場所で午睡する

午睡の部屋は既にカーテンが引かれ、薄暗くしてあります。子どもは部屋に入るときから静かに入ってきて、上履きと靴下を脱ぎ、自分の布団の場所に横になっています。直ぐに寝入る子もいます。もぞもぞしたりしていると、保育士がおなかや頭をなでたりしていました。

【3歳児】

<活動> ダンスを楽しむ

クリスマス会で踊ったダンスを2グループに分かれて、お互いに披露しあっています。1グループは「お客さん」になり、もう片方のグループが、「お客さん」の方を向いて一列に並び、ダンスをしています。見ている方の子どもたちは「お客さん」なので、正座したり、背筋を伸ばしていたり、真剣に見ていたり、一緒に歌ったり、体を動かす子など様々です。終わった後で拍手すると踊っていたグループは嬉しそうでした。

【4歳児】

<活動> おもちで かき餅をつくる

鏡開きで使ったおもちの残り、かき餅作りをしています。乾いた後は揚げ餅にして食べるそうです。保育士の周りに集まり、保育士がおもちを小さく切っていきます。「いくつできたかな」「一人2個くらいずつあるかな」「これが大きい」「うまくできるかな」「乾かすのはどうやるの」「網に入れておくのよ」「どれくらいで乾くんだろう」「入れてみたい」など話が弾んでいます。網に入れる時に「くっつかないようにしないとね」「まな板ごと、ざーっと、入れたら?」「少しずつ入れておいて、それが乾いたら次のを入れたら」「時間かかっちゃうよ」などにぎやかです。

【2～5歳児】

<園庭遊び>

2歳児二人が赤い汽車ポッポの遊具のなかで遊んでいます。やがて、穴をくぐりぬけてかけっこを始めました。4歳児、5歳児がやってきて一緒かけっこを始めました。

2歳児、4歳児が保育士と大縄跳びを始めました。保育士が縄の片方をポールに結び、大きく振って子どもたちに飛ぶように促しています。5歳児が何人か加わりました。皆、一人ずつ順番に繰り返し、繰り返し上手に跳んでいます。

タイヤが何本か転がっています。3歳児、4歳児の子どもがタイヤの中に入って寝転んで空を眺めています。やがて、離れているタイヤを移動して並べ、その上をバランスをとりながらケンケンパを跳んで見せています。

3歳児が15名園庭に入ってきて遊び始めました。かけっこ、三輪車であちこち走り回り始める子、他の子は保育士を仲間に入れて園庭内の木でかくれんぼを始めていました。

砂場で2~4歳児が数人遊んでいましたが、保育士も加わってお山を築き始めました。すそ野のスロープをスコップでたたいて固めています。やがて穴を掘りトンネルを作り始めています。

三角ログ（木製の屋根）があり、結び目付きロープが2本下がっています。5歳児がロープを握って屋根のてっぺんに登りました。棟にまたがって周囲を見下ろしています。やがてロープを伝わって地面に降りました。4歳児がそれを見ていて、同じように三角屋根のてっぺんに登りつめます。座ったまま徐々に移動して棟の端っこに来ると、周りを眺めています。やがてロープに戻り、地面に降り立ちました。この間、保育士が下でじっと見守っていました。少し離れた砂場の保育士も遠目に、三角ログに登る子どもたちの動きを見守っていました。

【3~5歳児】

＜活動＞クラスでの朝の会（縦割りで3クラスに分かれています）

クラス内でそれぞれ自由に好きな遊びをしていましたが、やがて「手遊びしよう」「ぼくがやりたい」と一人が椅子に腰かけるとそこに4~5人が集まってきました。「何がいいかな」「なんでもいいよ」「じゃ、きらきら星やるね」と手遊び歌を始めます。一人が終わると次々と交替して違う手遊び歌をしています。離れたところで、遊びに熱中していた子も、片づけを始めて、集まってきます。しばらく時間が経過しても、遊びに夢中の子には、保育士がそっと、手を肩に置くと、子どもが周囲を見回し、おもちゃを片付け始めました。

タイミングを見て、保育士が、朝の挨拶や今日の予定の話を始めました。

＜活動＞園庭遊び

砂場、三輪車、竹馬、凧（自作）あげ、追いかかけっこ、遊具で遊ぶなど、自由に異年齢で楽しんでいます。園庭の半分は平地となっており、ドッジボールやサッカー、縄跳びなどを行っています。園庭には、梅、桜、柚子、コブシ、藤、百日紅などの樹木や、畑、プランターで草花の栽培などもしています。

＜活動＞室内遊び

様々な遊びのコーナーがあり、友だち同士や、一人で製作に熱中するなどし

ています。オセロや坊主めくりなど友だち同士楽しんでいたり、キーボードを弾いて楽しんだり、カーペットやクッションのある場所でのんびりしたりしています。

【3～5 歳児】

<食事>

バイキング形式ですが、トレーを持って並んでいる子どもに、お当番二人と保育士が給仕しています。お当番は保育士から量を聞きながらご飯を盛っています。子どもはその量を確認しています。お当番がお皿におかずを盛って、すでに用意されているお茶と味噌汁をトレーに入れると、子どもは自分の席に気を付けながらそのトレーを運びます。そのテーブルの子どもたちが全員準備が出来たのを見て、お当番が来て「いただきますーす」と言って食事を始めました。

子どもたちの楽しい会話が続いています。お代わりをする子どもが続いています。「まだ、おかずあるよ」戻ってきた子どもが皆に伝えています。保育士が見回ってきて「〇〇君、まだ残ってるよ、食べちゃおう？」「△△ちゃん、今日はすごいねえ、空っぽだね、お代わり、いいの？」と確認しています。

食べ終わった子どもは、めいめい、トレーと食器を持ってワゴンに行き片づけています。片づけ終ると、コーナーのテーブルやマットに行き、絵本を眺めたり、寝転んだりして過ごしています。

第三者評価を受審して

社会福祉法人 ICA
市場保育園 園長 山下好子

まず初めに、この度は時間をかけ丁寧な対応で、気付きやアドバイスを頂きました評価機関の皆様、お忙しい中利用者アンケートにご協力くださいました保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今回の受審は前回から5年以上経ち、その間に分園を開所し、園児も職員も増えました。そこで今の市場保育園のあるがままの姿を見つめ直し、自分たちの『保育』を振り返りました。その中で今回の受審を、保育の質の向上を目指すための、職員の連携・保育内容・マニュアル等を見直していく機会と捉えました。個人の自己評価は、前回の受審を経験した職員が中心となり、自己評価グループ毎に意見を出し合いながらまとめました。それにより『自己の保育』『市場保育園の保育』を職員同士で振り返り、見直し、あらためて『保育』の共有ができました。

受審が終わり、評価結果報告で、子どもたちが自主的に遊び、意欲的に過ごしているといっただき、嬉しさと共に自信にも繋がりました。利用者アンケートや自己評価等の結果からは、今後の課題や取り組むべきことが見えてきました。さっそく全職員で話し合いをし、課題についてはどう改善してゆくのか、如何に工夫していくのかを検討しています。

今回の評価結果を踏まえ、今後も子どもたち一人一人をありのまま受け止め、子どもたちが人と関わる力を育みながら、自ら意欲的に過ごしていけるような環境を整えていきたいと考えています。そして、お子さまの成長を保護者の方ともっと共感できるよう、情報提供に取り組んでいきたいです。また、地域の中の保育園としての役割もより意識し、今後とも皆様に親しまれる園でありたいと思っております。